

2023年3月期第1四半期

決算説明補足資料

2022年8月5日

株式会社 ドリームインキュベータ（証券コード4310）

DI

第1四半期業績は、計画に対し概ね順調

- **ビジネスプロデュース： 継続成長**
 - ビジネスプロデュースの価値を軸に3つの本部として組織を体系化。対外マーケティングも強化
 - 第1四半期売上は8.6億円（対前期比+40%）と、5四半期連続の拡大基調
- **インキュベーション： 厳選育成と、適切な収穫を推進**
 - アイペット： 堅調なペット需要を背景に順調に推移
 - ワークスタイルラボ、ピークス： 譲渡完了。特別利益5.4億円
 - ベンチャー投資： 複数件収穫。第2四半期以降も複数パイプライン有

中長期成長を見据えた仕込み（他業種との協業拡張）も進捗

- 電通と「R&Dトランスフォーメーション推進チーム」を発足
- SIB*ファンドへの出資者が拡大
 - 三井住友海上、山陰合同銀行

2023年3月期 第1四半期 連結P/L（保険項目調整後）

(単位：億円)	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	79.7	89.8	10.0	13%
売上総利益	36.4	45.6	9.2	25%
営業利益	0.8	9.6	8.8	1097%
経常利益	2.7	10.3	7.5	272%
親会社株主帰属純利益	0.6	9.7*	9.0	1349%

* 子会社2社の譲渡に伴う特別利益 5.4億円計上

2023年3月期 第1四半期 連結P/L（保険項目調整前）

参考

(単位：億円)	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	79.7	89.8	10.0	13%
売上総利益	34.2	39.5	5.2	15%
営業利益	▲1.3	3.5	4.9	—
経常利益	0.5	4.2	3.6	606%
親会社株主帰属純利益	▲0.2	7.2*	7.4	—

注： 保険項目の調整による金額変更箇所は青文字で記載
* 子会社2社の譲渡に伴う特別利益 5.4億円計上

保険会計の調整項目及び調整額

(単位：億円)	2022年 3月期 第1四半期	2023年 3月期 第1四半期
調整前売上総利益（連結）	34.2	39.5
● 普通責任準備金に関する調整額*	+0.1	+3.7
● 異常危険準備金繰入額**	+2.0	+2.4
調整額合計	+2.1	+6.1
調整後売上総利益（連結）	36.4	45.6

* 普通責任準備金の算定を初年度収支残方式から未経過保険料方式へ変更した場合の調整額（戻入の場合はマイナス）
** 繰入額の影響を排除（戻入の場合はマイナス）

2023年3月期 第1四半期 セグメント別P/L

(単位：億円)

2022年
3月期
第1四半期

2023年
3月期
第1四半期

対前期
増減率

概況

ビジネス
プロデュース
セグメント

- 売上高
- 経常利益

6.1

8.6

40%

0.8

1.6

101%

- 5四半期連続で増収
- 人員増比以上に売上増が大きく、利益計上が先行

ハンチャー投資
セグメント

- 売上高
- 経常利益

0.3

2.0

504%

0.4

0.9

115%

- 複数件の収穫を実現
- 2Q以降も引き続きIPO及びトレードセールによる収穫を見込む

ペットライ
スタイル
セグメント

- 売上高
- 経常利益*

66.3

79.1

19%

3.0
(0.8)

7.8
(1.6)

160%

- 堅調なペット需要を背景に順調に推移

事業
投資

HR
イノベーション
セグメント

- 売上高
- 経常利益

2.8

—

—

▲0.3

—

—

- 当期1Qに譲渡し特別利益0.3億
- 期首より連結除外

ファン
マーケティング
セグメント

- 売上高
- 経常利益

4.0

—

—

▲1.1

—

—

- 当期1Qに譲渡し特別利益5.1億
- 期首より連結除外

注： 経常利益：セグメント利益－全社費用負担額±営業外損益
* 保険項目調整後。カッコ内は調整前

ビジネスプロデュース事業強化に向けた取り組み

ビジネスプロデュースの価値を軸に
3つの本部として組織体制を強化

第一本部 (価値創造)

産業プロデュース / ビジネスプロデュース

- 構想やコンセプトを打ち出し、DIのコアコンピタンスである、事業創造の新しいビジネスモデルや戦略設計を行う

第二本部 (実現推進)

ビジネスプロデュースインストレーション / DX

- ビジネスプロデュースを実現させる組織づくりや事業を実装する支援を行う

第三本部 (価値拡大)

グローバルSX / インキュベーション

- ビジネスプロデュースのコンセプトを海外に拡大適用し、世界規模での事業創造を作る支援を行う

各本部に本部長（副社長、統括執行役員級）を配し、相互に連携しながらビジネスプロデュース事業を拡大

その取り組み内容や価値を世の中に広めるべく
積極的なマーケティング活動を展開



DI's Works Vol.1
第一本部長 石川 雅仁

「命題は、世の中に新たな価値を生み出していくこと」

DI's Works Vol.2
第二本部長 島崎 崇

「事業創造の伴走者として、顧客と成功体験を共有する」



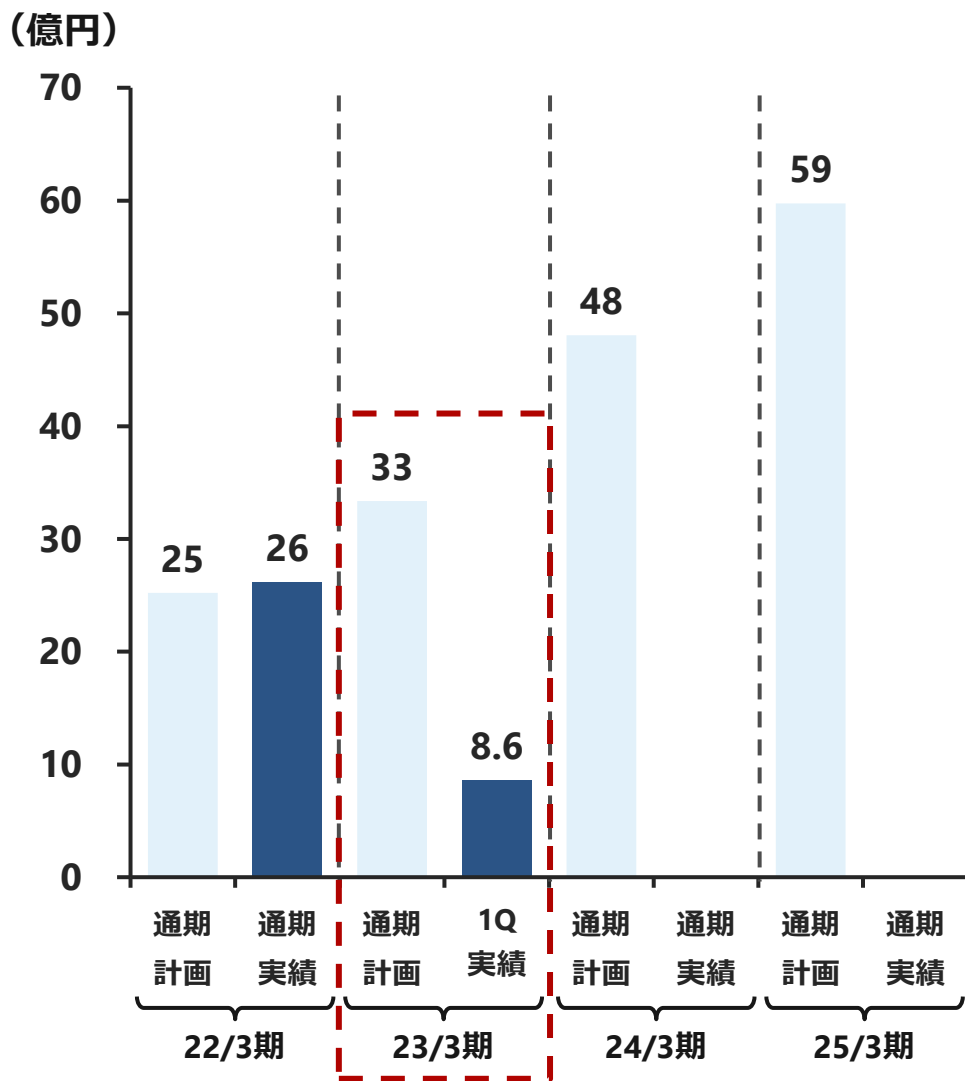
DI's Works Vol.3
第三本部長 細野 恭平

「途上国の社会課題解決のファーストチョイスを目指す」

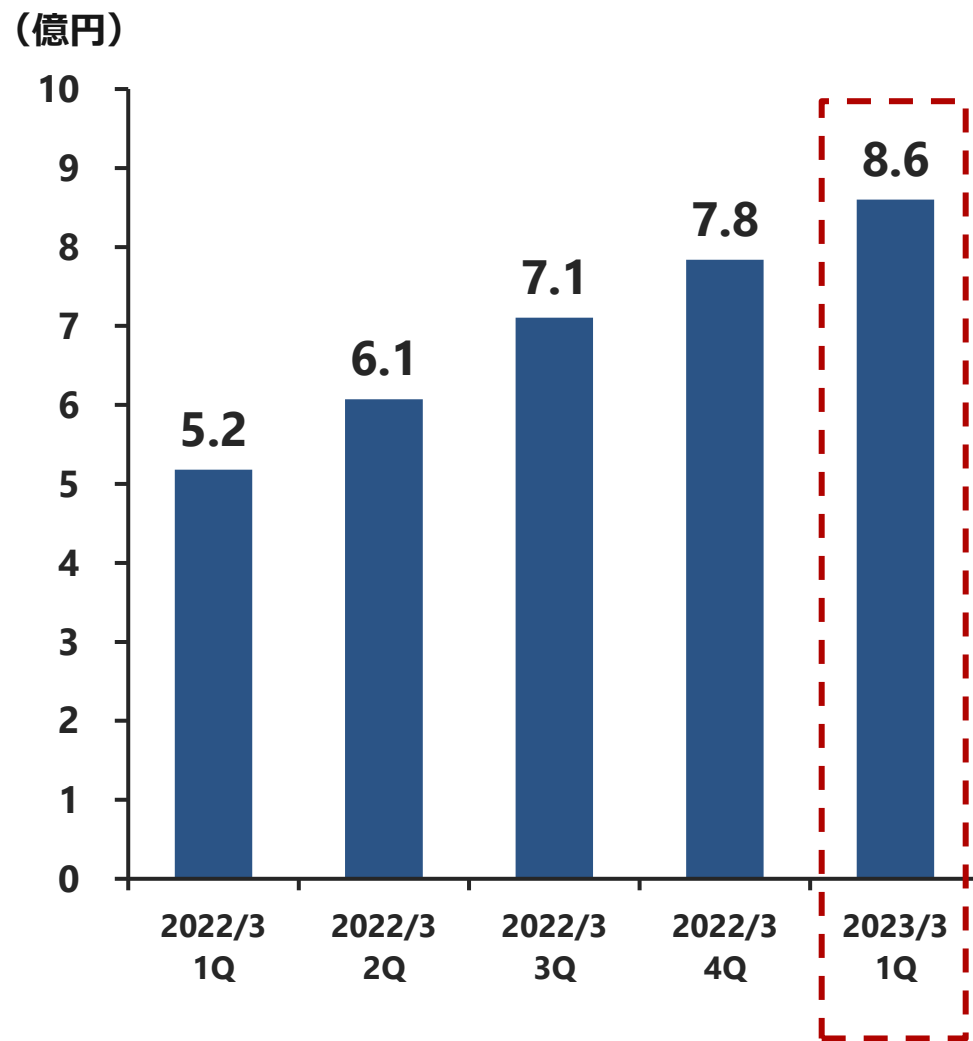
DIの価値の魅力を顧客やパートナーだけでなく、社員の働き甲斐、採用拡大に向けても訴求

ビジネスプロデュース売上状況

売上高* 計画対比



四半期売上推移*



* カーブアウト済事業の売上・利益を除く

インキュベーション事業（事業投資）パフォーマンス

		事業概要	投資時期	売却時期	含み/売却損益 ¹⁾
			(年/月)	(年/月)	(億円)
投資中	アイペット HD	ペット向け 医療保険	2011/9	—	+98 ²⁾
	BOARD WALK	イベント Eチケット	2015/9	—	非開示 ³⁾
売却済	ワーク スタイルラボ	フリーコンサルの マッチングPF	2018/8	2022/6	▲2.2 ⁴⁾ (+0.3)
	ピークス	趣味に関するIP (雑誌/デジタル メディア)	2021/2	2022/4	+3.4 ⁴⁾ (+5.1)
	DI Asia	アジアの市場調査	2014/7	2019/10	▲2.6
	ReValue	アセット リクイデーション	2010/7	2016/1	▲7.0
	TGC (日本知財 ファンド1号 ⁵⁾)	Tokyo Girls Collection商標権	2012/2	2015/7	+2.4

1) 投資中案件は含み損益、売却済案件は売却損益（連結P/Lでの取込額を除く、税引前のCFベース）

2) 2022年6月30日終値ベース

3) 投資中案件の金額は原則非開示（除く、上場済）

4) 過年度の損失を含む額。カッコ内は当第1四半期で計上した額

5) 形式上はファンドだが、実質判断で事業投資として評価

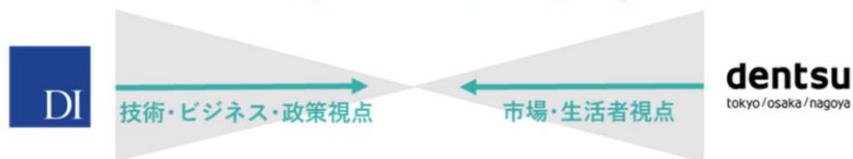
中長期成長を見据えた他業種との協業拡張

電通との取り組み状況

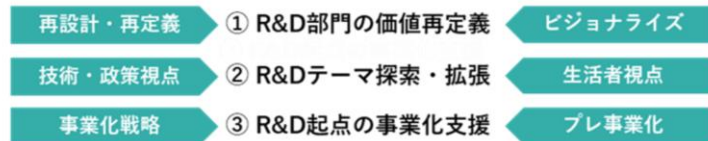
電通と、「R&Dトランスフォーメーション推進チーム」を発足（'22/7/4）

- 電通/DIのナレッジ・強みを統合し、企業のR&D部門の課題解決サービスラインを一本化

R&Dを、もっと世の中へ。



ドリームインキュベータと電通ならではのビジネスプロデュース力・実行力でR&D起点の事業創造を実現する「R&Dトランスフォーメーション」



SIB*に関する取り組み状況

- SIB*ファンドへの出資者が拡大（'22/7/1）
 - 三井住友海上
 - 山陰合同銀行



ごうぎん

三井住友海上

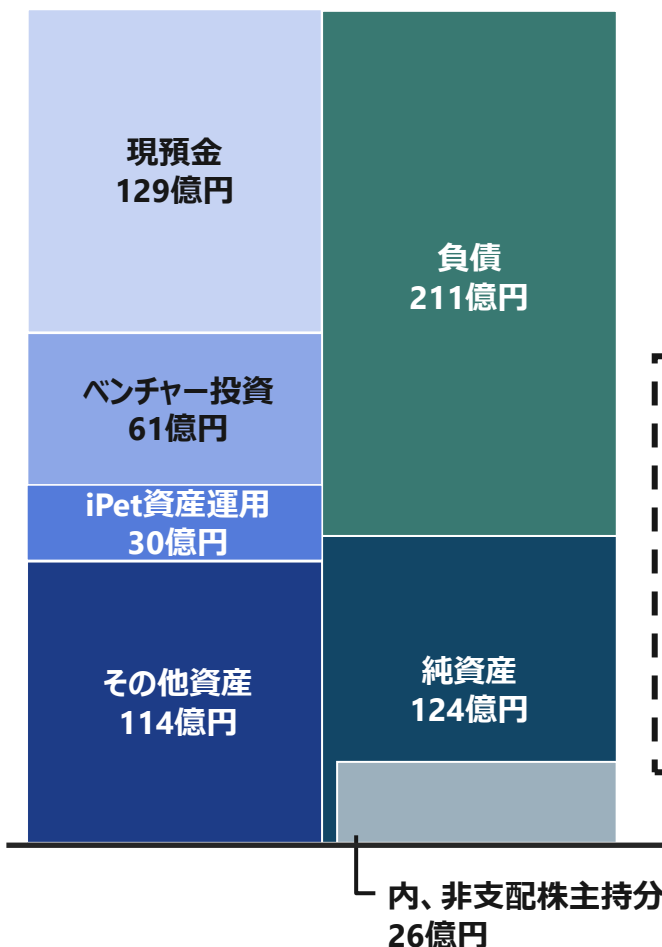
- 松江市、山陰合同銀行、日本政策投資銀行と、SIBの活用に向けた調査・研究に関する覚書を締結（'22/7/22）



ごうぎん

2023年3月期 第1四半期 連結B/S

2022年3月末
(総資産：335億円)



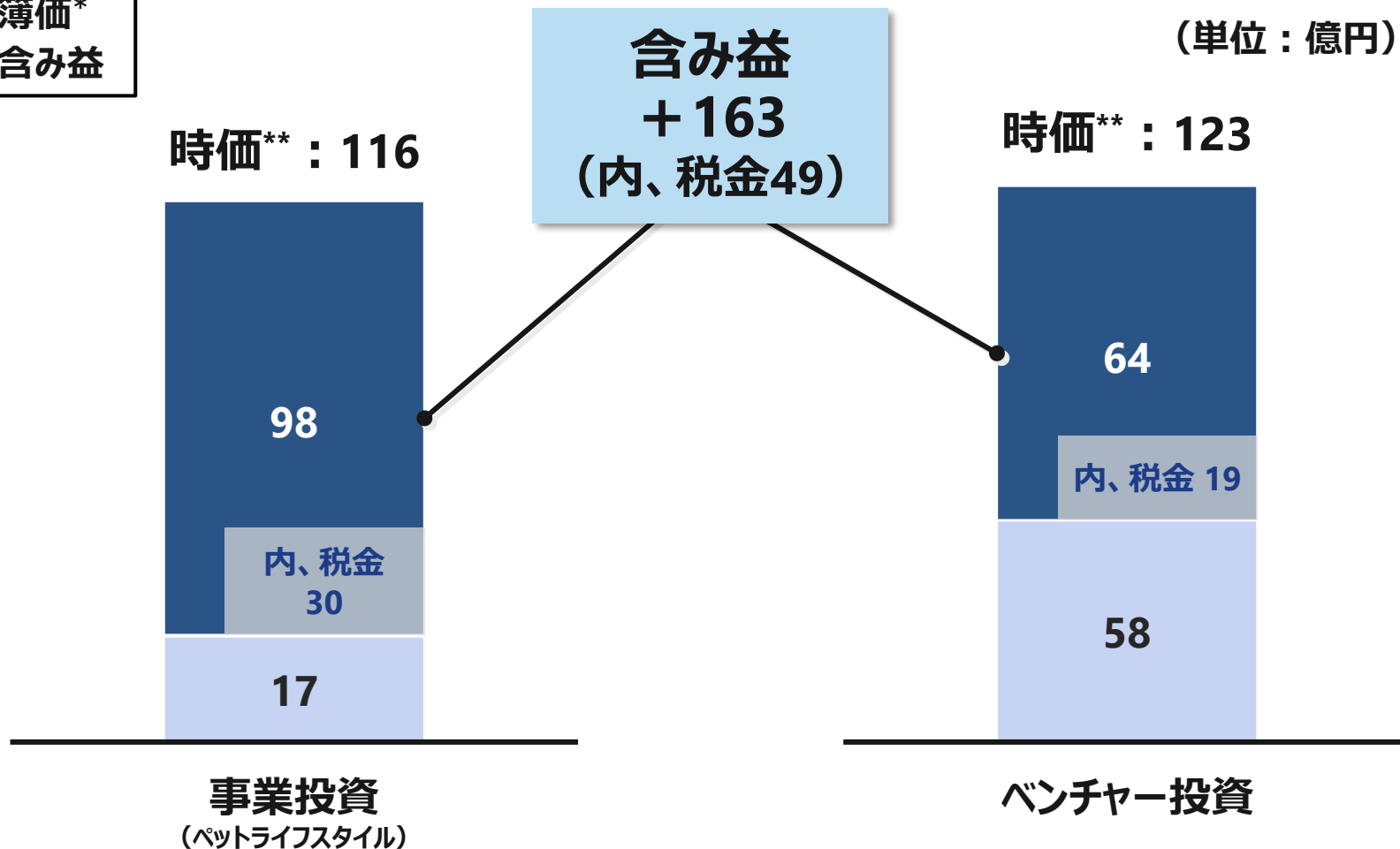
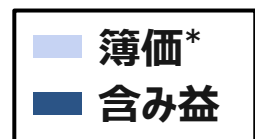
2022年6月末
(総資産：338億円)



純資産 増減内訳

- 当期純利益 +7.2億円
- 非支配株主持分 +1.1億円
- その他有価証券
評価差額金 +3.3億円
- その他包括利益等 +0.5億円
- **合計 +12.1億円**

2023年3月期 第1四半期末の投資状況



* ファンド投資はDI持分のみ
** 上場銘柄：期末時点時価総額 × 当社持ち分
未上場銘柄：期末時点投資簿価残高 ± 時価評価差額 (直近ファイナンス価格や第三者取引価格)
上記価格が無いものは再評価せず、簿価評価

1. 普通責任準備金に関する調整

- 損害保険会社は、保険業法に基づき、普通責任準備金を、2つの方式（未経過保険料残高と初年度収支残高）で計算し、いずれか大きい方を負債計上する必要
- 上記に基づき、アイペット損保では制度会計上は初年度収支残高によっているが、発生主義による利益と近似する未経過保険料方式での損益を重要視
- また、上場企業において初年度収支残方式に基づく損害保険会社が限られているため、競合他社比較の観点からも、未経過保険料方式により算定された損益開示が投資判断に有用と判断

2. 異常危険準備金に関する調整

- 異常危険準備金は、異常災害による損害の填補に備えるため、法令により積み立てておくこととされている責任準備金の一種
- 法令で定める基準損害率を超える場合には、その損害率を超える部分に相当する金額を取崩し（費用のマイナス）、低い場合には、積み立てる必要
 - アイペット損保では、損害率が基準よりも低いため、収入保険料に3.2%を乗じた金額を每期積み立て
- 実質的な損益実態を把握する指標として、取崩し・積み立ていずれの場合でも、当該影響額を除いた損益を重要視

DI = The Business Producing Company

Mission : **社会を変える 事業を創る。**

Vision : **挑戦者が一番会いたい人になる。**

Value : **枠を超える。**

- 領域の **枠を超えて** 構想する。
- 常識の **枠を超えて** 戦略を立てる。
- 組織の **枠を超えて** 仲間を集める。
- 自分の **枠を超えて** 挑戦する。

免責事項

本資料内に記載された将来の見通しや戦略等は、作成時点において入手可能な情報に基づくものであり、目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、経営環境の変化、投資先企業の業績の悪化、金融商品市場における株価の変動等の要因により実際とは大きく異なる可能性があります。

また、本資料の内容は将来予告なく変更されることがあります。本資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合し、利用者の判断によって行って頂きますようお願い致します。本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

Dream Incubator Inc.

The Business Producing Company